

ま ち の 話 題

豊岡

市のマスコット「玄さん」への年賀状

ウサギ年、玄さんも大きく飛躍!!

1月1日、市のマスコット「玄さん」宛ての年賀状を、飛脚に扮した郵便局職員が市役所東庁舎別館前で待つ「玄さん」に手渡しました。人気者「玄さん」への年賀状は、昨年も届きましたが、今年は豊岡郵便局の企画に市が協力し、返信しますと呼び掛けたところ、全国から1383通(1月14日現在)もの年賀状が届きました。

年賀状には、「いつも応援しています」などのメッセージが添えられていました。玄さんは「今年も頑張らないかんの」と大喜びしながらさらなる活躍を誓い、返事を1月14日に投函しました。



▲「こんなにたくさん」とびっくりしながら年賀状を受け取る市のマスコット「玄さん」

城崎

麦椿の会 ふれあい展

鮮やかな麦わら細工が

来館者をおもてなし

但馬高齢者生きがい創造学院麦わら教室の生徒による作品展「麦椿の会 ふれあい展」が城崎町湯島の城崎文芸館で開催されました(11月30日～1月25日)。

正月らしいたこ揚げや福えびす、昨年の干支であるトラや今年の干支ウサギを題材にした麦わら細工が40点展示されました。

麦椿の会では、市内の60～80歳代の会員50人が、城崎麦わら細工技術者の会会長 神谷勝さんに月2回の指導を受け、毎月1点を仕上げていきます。観光で訪れた上田善弘さん(奈良市)は「鮮やかなのに素朴で、人にインパクトを与える作品ばかり」と感嘆していました。



▲力作が並ぶ会場は息をのむ鮮やかさ

竹野

竹野子育てセンター「鏡開き」

みんなで仲良くお正月遊び



▲必死になってかるたを取る子どもたち

1月11日、竹野子育てセンター(竹野町和田)で、「鏡開き」が行われました。

子どもたちは、かるた取りや福笑いをして遊んだり、各家庭から持ち寄った餅を入れた雑煮を食べ、楽しみました。

福笑いでは、目隠しをした子どもたちが、お母さんに手を引かれ、ドラえもんやアンパンマンの顔の輪郭を描いた紙に、目、口、鼻などを適当な位置に並べていました。

お母さんたちは、みんなの前で、「家族が笑顔でいられるように頑張る」など、今年目標を力強く宣言していました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

但馬ドームテニスクリニック

少し上手になれたかな？

テニスの楽しさ伝えます！

1月8日と9日の2日間、テニスクリニックが県立但馬ドームで開催され、幼稚園児から一般の方まで約100人が参加しました。

これは、但馬ドームが、日高町の大岡山にキャンパスを持つ園田学園女子大学と連携して、平成11年から毎年実施しているものです。テニス界の名門、同大学テニス部とそのOG（卒業生）が、フットワークやストロークなど、基本から応用までを分かりやすく指導。参加者らは、終始、テニスを楽しんでいました。初めて参加した村岡未来さん（中筋小4年）は「テニスのいろいろなことが分かった。もっと上手になりたい」と笑顔で話していました。



▲ラケットの使い方を教わりながら、テニスを楽しむ小学生の参加者ら

出石

豊岡市出石消防団出初式

無火災の地域を目指して!!



▲「備えあれば憂いなし」いざというときは任せてよ！

新年に入ると、恒例の消防団出初式（日高を除く）が、各地域で執り行われました。

1月9日、出石文化会館ひほこホールでの式典では、団員285人の出席のもと、永年勤続者への表彰や、団員を支える家族、地域での減火災への尽力や火災発生時の類焼防止に貢献した方々への感謝が伝えられました。

その後、同所駐車場で、各分団は器具や服装点検を受け、分列行進を行い、式最後の一斉放水は、観覧者からの歓声に包まれました。団長の藤井正昭さんは「チーム一丸で気象変化に柔軟に対応し、広報活動にも力を入れ、無火災の出石を目指す」と力強く語りました。

但東

交通安全事故防止啓発街頭キャンペーン

命は一つ 安全運転！

1月12日、国道426号沿いの「但熊」(但東町栗尾)駐車場で、交通安全・事故防止キャンペーンが実施されました。平成22年は、市内で9人の交通事故死亡者が出ています。

雪の降る中、高橋小学校の児童10人が、市のマスコット「オーちゃん」「玄さん」と共に、但熊を訪れるドライバーなどにグッズを配り、安全運転を呼び掛けていました。

また、毎年、近隣に設置されている干支看板(栗尾ふるさと135委員会が設置)は、「迎春」の文字が交通安全メッセージに変更され、道行くドライバーに安全運転を促し、交通事故の減少を見守っています。



▲「交通安全メッセージ」が跳ねる干支看板。但熊を訪れたドライバーにも安全運転を呼び掛けた